

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 平成28事業年度の業務実績に関する評価結果の概要（案）

大阪府市地方独立行政法人大阪産業技術研究所評価委員会
（事務局：大阪府商工労働部中小企業支援室ものづくり支援課）

地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所の各事業年度の業務実績については、地方独立行政法人法に基づき、大阪府市地方独立行政法人大阪産業技術研究所評価委員会による評価を受けることとなっており、平成29年8月17日に開催された平成29年度第4回評価委員会において、平成28事業年度の業務実績の評価結果が決定されました。

全体評価 「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」

- 4つの大項目全てにおいて、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると判断した。
- 委員会コメント

多様な利用者ニーズに応えるため、顧客満足度の把握や、「提案する」、「つなぐ」の支援を積極的に行い、企業の課題解決に貢献しただけではなく、技術サポートセンターの創設やプレ研究制度の導入などの取組みが、職員の研究時間の確保や企業の利便性の向上につながっている。企業との共同研究や競争的研究資金等の外部資金の安定的な確保は、企業支援と研究開発の両方を計画以上に組み合わせた成果といえる。したがって、「Aプラス」の評価であると言っても過言ではない。

統合後の新法人においても、これまで研究所で培ってきた技術力を活かし、利用者の満足度を落とすことなく、新たなサービスの拡充や、更なる研究所機能の充実、分かりやすい情報発信等に積極的に取り組み、大阪産業の更なる発展に積極的に関与していくことを期待する。

住民に対して提供するサービス その他の業務の質の向上	S	A	B	C	D	<p>定型的な依頼試験や設備開放を担当する技術サポートセンターを新たに創設し、職員の研究時間の確保に努めるとともに、法人収入の確保に貢献し、更に研究員に対する技術伝承を行った。</p> <p>また、平成26年度に採択した5件の公募型共同開発事業の成果が出ていることや、企業が受託研究を利用しやすくするためのプレ研究制度が活用された結果、受託研究や共同研究にもつながっており、企業の利便性を向上させたことから、計画どおり進捗していることが認められた。</p>
業務運営の改善 及び効率化	S	A	B	C	D	<p>業務運営会議の開催回数を減らすことで業務負担軽減を図る一方、職員用端末機の「所内掲示版」を活用することで情報の共有化を図った。</p> <p>また、「集約発注制度」を平成28年10月より本格実施し、発注にかかる事務の効率化及び経費削減を図ったことから、計画どおり進捗していると認められた。</p>
財務内容の改善	S	A	B	C	D	<p>国、財団法人等が実施する提案公募型研究等への応募をサポートする所内の体制を具体化し、積極的に応募した結果として、応募件数が目標を上回った。また、外部資金研究費の増加によって、より安定した収入構造に変化しつつあることから、計画どおり進捗していると認められた。</p>
その他業務運営に関する重要事項	S	A	B	C	D	<p>改修計画に基づく施設整備を進めるとともに、電波暗室の実施設計を終了し、設備機器の整備は、外部資金等も活用しつつ、導入・保守点検とともに計画的に実施した。</p> <p>また、ストレスチェック制度を円滑に導入し、職場環境の改善に取り組んだことから、計画どおり進捗していると認められた。</p>

○ 評価区分

- S：特筆すべき進捗状況 A：計画どおり B：おおむね計画どおり
C：やや遅れている D：重大な改善事項あり